

政策評価委員会による議論を踏まえた指標点検結果

1. 政策評価委員会における議論

(1)開催日時

第1回：令和3年11月2日（火） 18:00～19:30

第2回：令和4年1月17日（月） 18:00～19:00

(2)議論の具体的方法

68 施策について指標と目標値の設定根拠をまとめた表に基づき、指標および目標値の点検を行った。

(3)意見要旨

【指標の設定について】

- ①「目指すべきまちの姿」と指標が整合しているかについては再度点検した方が良い。特に、後期基本計画の「目指すべきまちの姿」が区民の活動を増やしたいのか、意識や認識を高めたいのか、といった違いに着目して設定することが望ましい。
- ②「成果を測る参考指標」はアウトカムであることが基本であることを前提に、再度点検する必要があるのではないか。

【目標値の設定について】

- ①目標値は、本来「あるべき理想の値」に近づけることが望ましいが、明らかに達成不可能であっても意味がない。また、「明らかに達成可能な値」も意味がない。達成可能な水準から、チャレンジ的な要素を加味した値に設定することが望ましい。
- ②ほとんどの施策において、目標値に向かって毎年度同率で伸びることが想定されている。しかしながら、実際は効果が遅れて現れるなど、成果の伸びが曲線を描く施策もある。現時点で計画への反映は難しいと考えるが、しっかり議論する必要がある。
- ③DV 相談件数などは、施策の進捗によって、ある時点で増やすより減らすことを目的とすべき指標ではないか。「相談に対する認知の高まりによって目標値が変わる可能性がある」などの前提条件を把握することが重要である。
- ④アンケートによる指標は、世の中の動向に大きく影響を受けるので、進捗を評価する際には、そうした動向を踏まえたうえで結果を解釈していく必要がある。

2. 基本計画指標、目標値の総点検内容

区分		チェック項目		見直しの視点
指標	<input type="checkbox"/>	指標の選択	目指すべきまちの姿の達成状況を適切に測れ、想定しうる指標の中で最も適切な指標になっているか（施策の進捗を測れる指標であるか）	○ 「認知度向上」を目指すなら「認知度」、「活動の活性化」を目指すなら「活動量」、「特定の状態」を目指すなら「その進捗（状況）」を直接的に示せる指標の設定が望ましいという視点で点検してください。
	<input type="checkbox"/>	活動/成果区分	活動指標と成果指標が定義に即しているか（活動指標と成果指標の区分は次頁の通り）	○ 成果指標を達成すれば目指すべきまちの姿になるのか確認してください。 ○ 活動指標は区の取組に応じて向上するものになっているか確認してください。
目標値	<input type="checkbox"/>	目指す方向性 (2030年に向け増やすのか減らすのか)	目標値が目指すべきまちの姿を実現する方向に設定されているか（現実的に目標値は線形で変化しないはず）	○ 目指すべき水準が時点によって変化する指標はできるだけ設定しないという視点で点検してください。
	<input type="checkbox"/>	水準	努力要素、チャレンジ要素を加味した適切な目標値の水準になっているか（実現が容易でも、不可能でもない目標値設定になっているか）	○ 目標が「②達成を見込める現実的な数値」の場合、より高い目標値を設定できないか検討してください。 ○ 目標が「①あるべき姿の理想値」の場合、実現可能性は本当にあるのか再確認してください。

3. 再点検結果

再点検の結果、以下の通り指標および目標値の修正を行った。

● 施策 5-1-1 みどりの活動拠点の創造・育成 (P124)

- ・ 近くに好きな公園があると思う区民の割合の 2025 年、2030 年目標値をそれぞれ 50%⇒55%、55%⇒60%に上方修正する。

〔変更理由〕 努力要素、チャレンジ要素を加味した適切な目標値水準に見直したため

● 施策 6-4-2 自助・共助の取組への支援 (P157)

- ・ 活動指標「合同防災訓練【回】」を「合同防災訓練（救援センター開設・運営訓練）参加者数【人】」に変更する。それに伴い目標値も含め以下の通り変更する。

	活動指標	現状値 (2020 年)	目標値 (2025 年)	参考値 (2030 年)
変更後	合同防災訓練（救援センター開設・運営訓練）参加者数【人】	216	1,066	1,332
変更前	合同防災訓練【回】	2	18	18

〔変更理由〕 「施策の成果指標に直結する活動指標としては回数よりも参加者数の方が適切ではないか」という指摘を踏まえ再検討したため